

「2007年 若者の雇用状況調査」報告書

NPO法人 POSSE

## 1. 調査概要

NPO法人POSSEでは、昨年に引き続き、働く若者の労働と生活実態およびそれに関する意識について把握するために、アンケート調査「若者の雇用状況調査」を行った。調査の概要は以下のとおりである。

- (1) 調査名「2007年 若者の雇用状況調査」
- (2) 調査対象：18～35歳の働く若者
- (3) 調査方法：街頭対面型アンケート
- (4) 調査期間：2007年6月18日～8月22日
- (5) 調査規模：500名

## 2. 調査結果のポイント

- ・ 正社員をさらに職種・年収・学歴で類型化したところ、その2割の中心的正社員で、8割の周辺の正社員であるという結果になった。
- ・ 3年で辞めることに関しては、雇用形態・性別に関わらずほとんどの人が肯定している。企業からは自立した仕事のあり方を若者の多くが志向していることがわかった。
- ・ 5割弱の労働者が「悩みがある」と回答した。労働条件や、人間関係、メンタル面での悩みがその主な内訳であった。
- ・ フリーターは相対的にプライベートを優先している割合が高いのに対して、正社員は仕事を優先する割合が高いということがわかった。
- ・ 正社員・フリーターの違いにかかわらず、仕事に対してやりがいを感じている人は多くの割合で存在する。しかしながら、やりがいを感じるにしても、正社員とフリーターではその内容・理由が質的に異なることがわかった。
- ・ 多くの若者が結婚したいのにできていない状況があり、その理由として、正社員・フリーターの違いにかかわらず「出会いがない」というものが大きな割合を占めている。個別のグループでは、正社員の場合は「仕事が忙しいこと」、男性の場合は「経済的な余裕がない」ことが大きな理由としてある。

### 3. 調査結果

問1、問2の項目において、雇用形態、職種に関する質問を行った。また、回答者の基本属性を質問する項目において、学歴、月収・年収について回答してもらい、それらをあわせて、いくつかの類型化を行った。

問1. あなたの現在の働き方は、次のどれにあたりますか

・正社員 ・契約社員 ・派遣/請負 ・パート/アルバイト その他 ( )

問2. あなたは普段、どのような仕事をしていますか (例：工場で、車の部品を、作っている)

		正社員		フリーター	
		男性	女性	男性	女性
総数		144	124	111	121
職種	専門・技術	32	36	11	15
	管理	6	4	0	0
	事務	16	32	17	31
	販売	27	23	22	26
	技能・生産	22	4	10	7
	運輸・通信	2	0	7	0
	保安	2	0	2	0
	農・林・漁	1	0	1	0
	サービス	26	23	33	33
	スポット派遣	-	-	3	3
	その他	1	2	5	6
ライシュ分類	シンボリックアナリスト	28	24	-	-
	ルーティン生産	56	37	39	41
	対人サービス	56	61	63	71
	スポット派遣	-	-	3	3
	未分類	4	2	6	6
中心・周辺	中心	29	21	-	-
	周辺	115	103	-	-

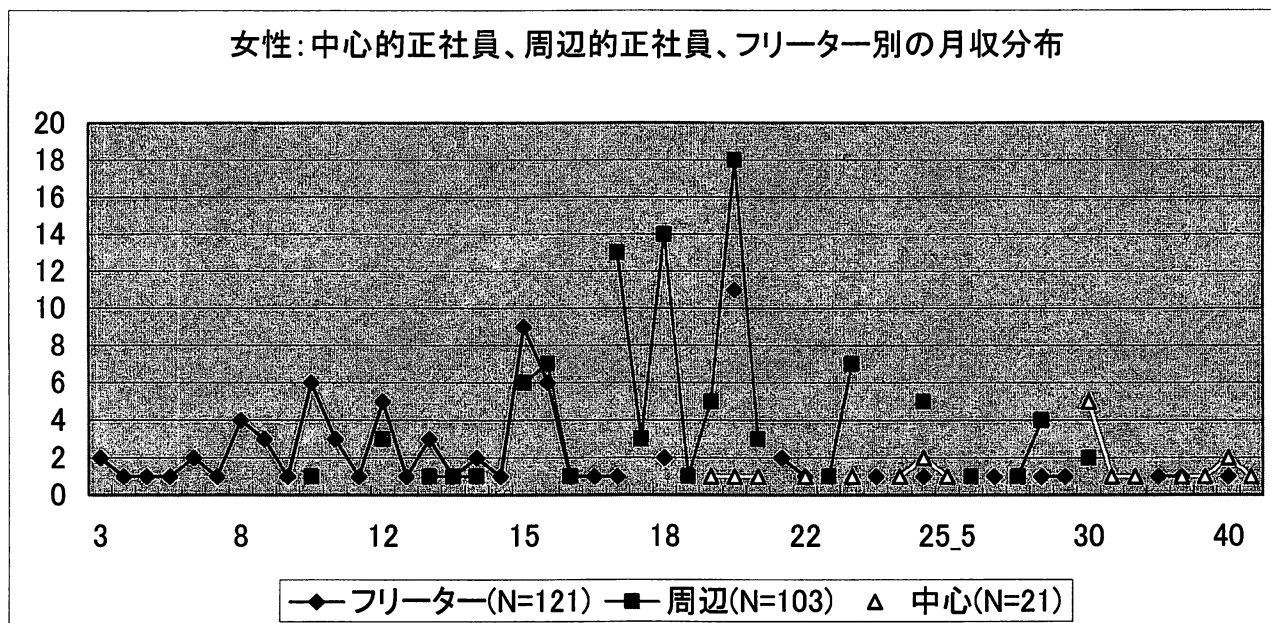
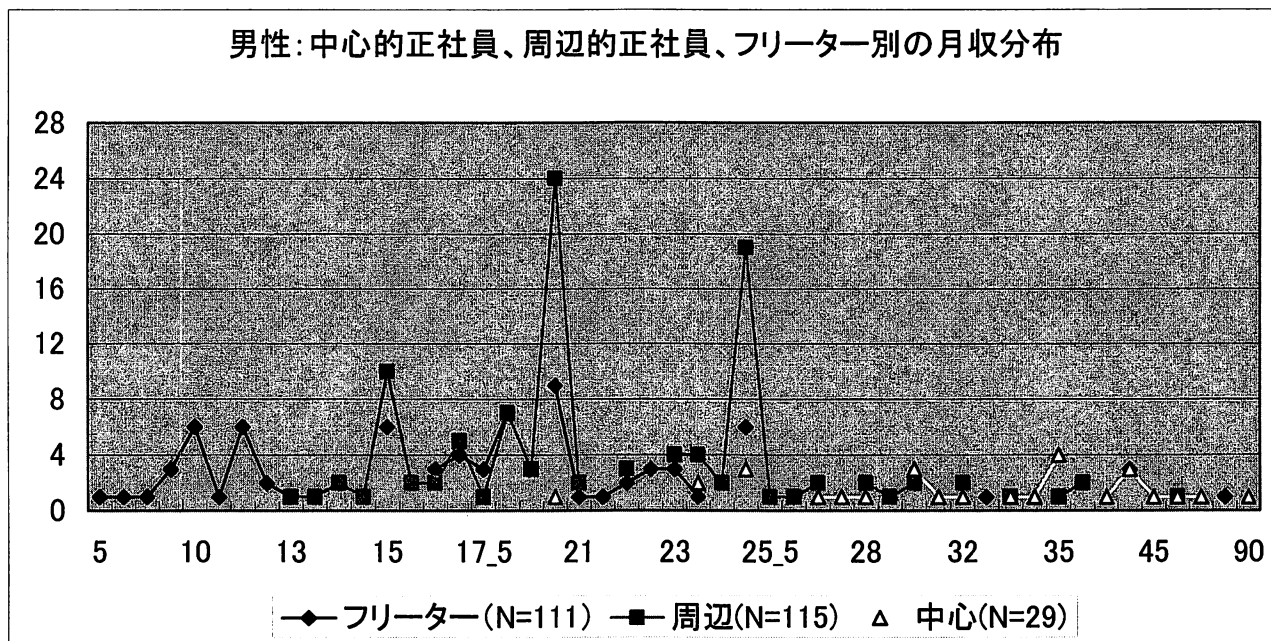
\*職種の分類については、労働政策研究・研修機構の分類に拠った。それにスポット派遣を加えた。

\*「ルーティン生産」、「対人サービス」という分類については、ロバート・ライシュ『ザ・ワーク・オブ・ネイション』における分類に拠った。それにスポット派遣を加えた。

\*「中心的正社員」、「周辺の正社員」という分類については、職種・月収・学歴の観点から判断した。

①【月収からみる中心的正社員、周辺の正社員、フリーターの3類型】

月収のデータから、中心的正社員、周辺の正社員、フリーター別の月収の分布を調べてみた。フリーターと周辺の正社員が重なっているというよりは、中心的正社員、周辺の正社員、フリーターの順に、分布が高い月収に集まるという結果であった。



なお、ここで使用している「中心的正社員」については、以下の3つの類型が想定されている。①民間大企業エリート、②年功的安定型、③公務員型。本調査では、これらの類型に当てはまる正社員を「中心的正社員」とし、類別した。具体的にどれを「中心的正社員」として分類したかについては巻末の「付属統計表」に記してある。

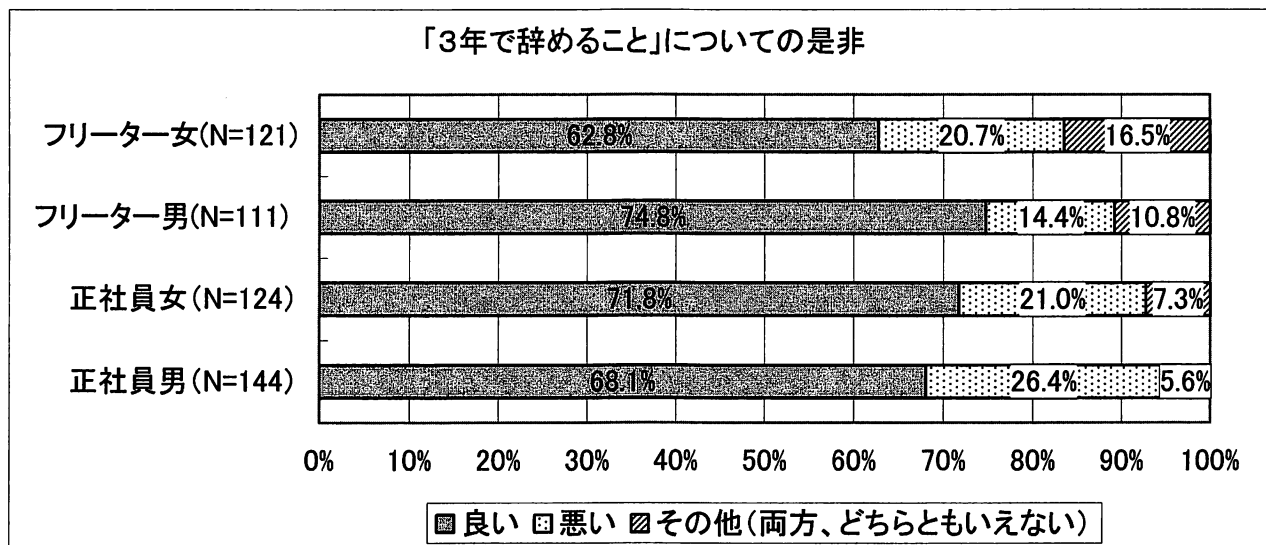
②【三年で辞めることについて】

問5の項目において、「三年で辞めること」についての是非と、その理由についての質問をした。

問5. 「3年で辞める若者」が話題になっていますが、3年で辞めることについてどう思いますか。また、その理由を教えてください（複数回答可）

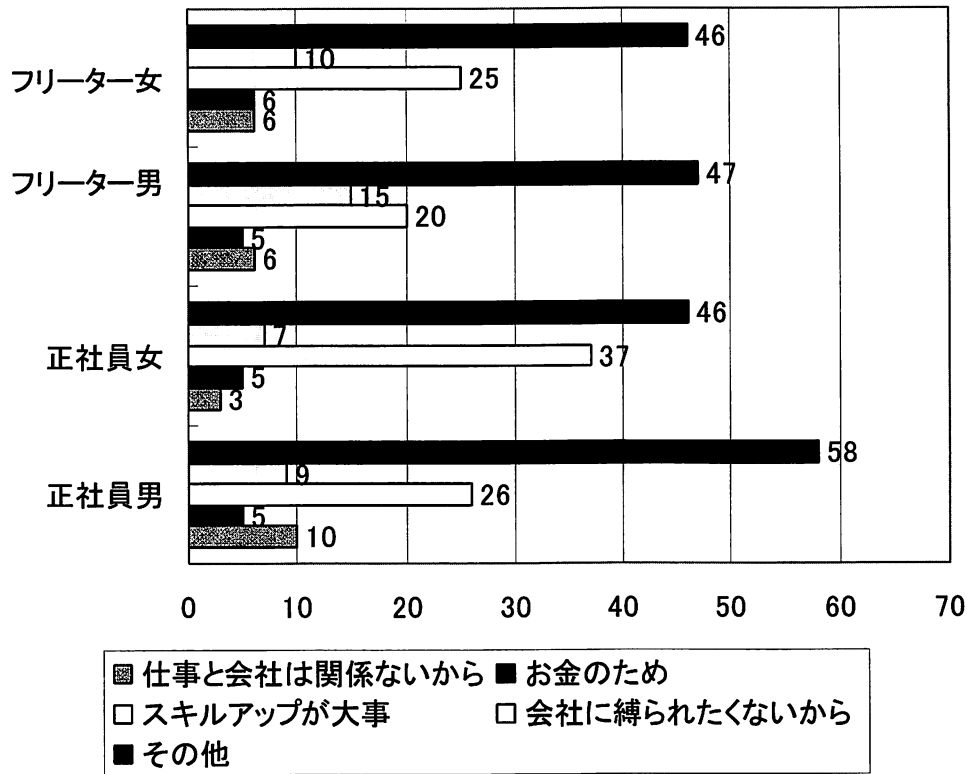
・良いと思う	理由	・仕事と会社は関係ないから	・お金のため
		・スキルアップが大事	・会社に縛られたくないから
		・その他（	）
・悪いと思う	理由	・一つの会社で働き続けるべき	・仲間に迷惑をかけてはならない
		・スキルが身につかない	・会社に生きがいを見出せるから
		・その他（	）

当初の想定では、「三年で辞めること」についてという質問に対して、フリーターは肯定的だが、正社員は否定的であろうと思われていた。しかし、実際のアンケートの結果は、雇用形態に関わらず、およそ8割の若者が「三年で辞めていい」との回答であった。多くの人は会社を中心として働くという志向から自由になっているということがわかった。

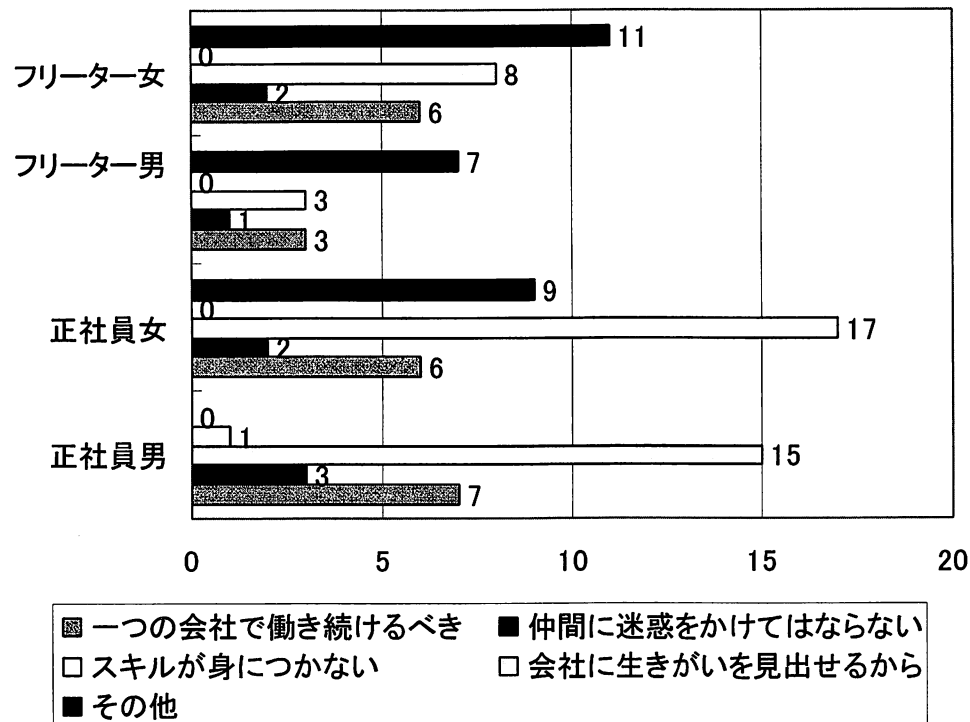


理由としては、一番多いのが、「スキルアップが大事」というものであった。また、「その他」を選んだ回答者が多く、選択肢の設定に問題があったことは否めないが、どれにも共通して多かったのは「やりたいことをやればいい」「合わなければ辞めていい」といった類の回答であった。ここからも、「辞める or 辞めない」の価値判断自体がすでに超えられており、個人の自由な判断であると認識されているということがわかる。

「3年で辞めること」について肯定する理由



「3年で辞めること」について否定する理由



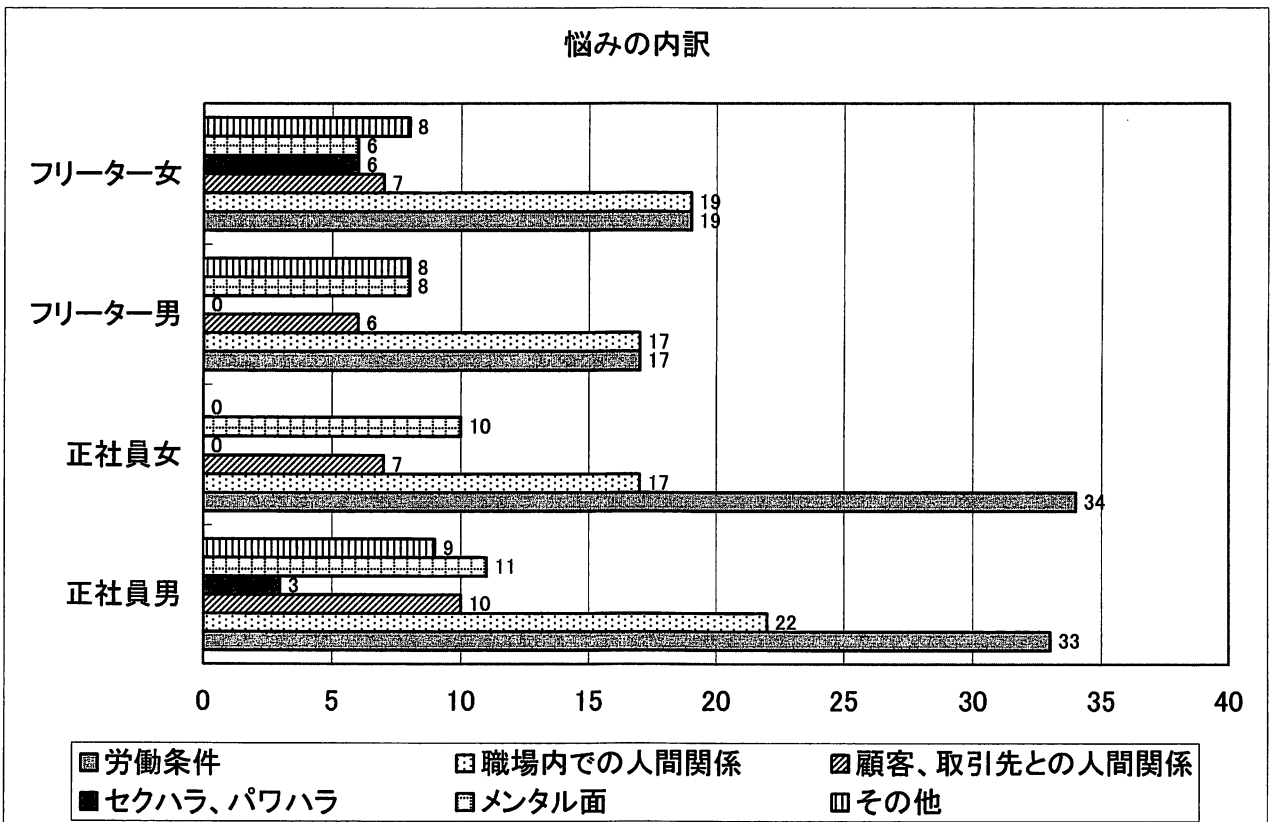
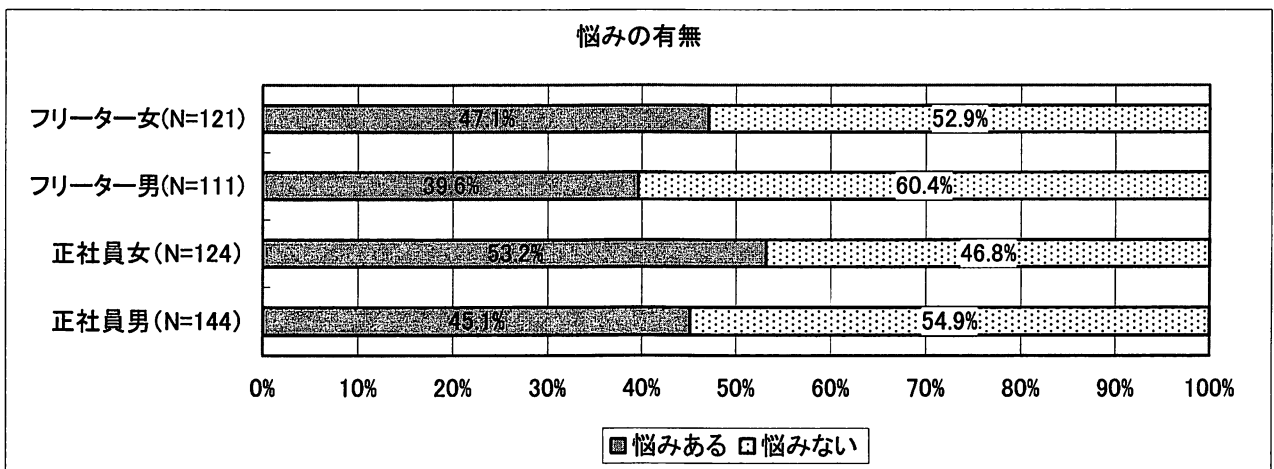
③【職場での悩みについて】

問7の項目においては、職場でどのような悩みがあるかについて質問した。

問7. 職場でどのような悩みがあるか教えてください(複数回答可)

- ・労働条件    ・職場内での人間関係    ・顧客、取引先との人間関係    ・セクハラ、パワハラ
- ・メンタル面    ・その他 (    )    ・なし

前回のアンケートとは違い、今回のアンケートは、悩みの具体的な内容を選択式にして回答してもらったところ、前回に比べてよりクリアな結果があらわれた。労働条件に関する悩みがもっとも多く、ついで職場での人間関係、そしてメンタル面での問題、顧客・取引先との人間関係という順に悩みの内訳は順位付けられた。特筆すべきは、メンタル面での悩みをかかえている人が、雇用形態・性別に関わらず一定数存在しているということだ。



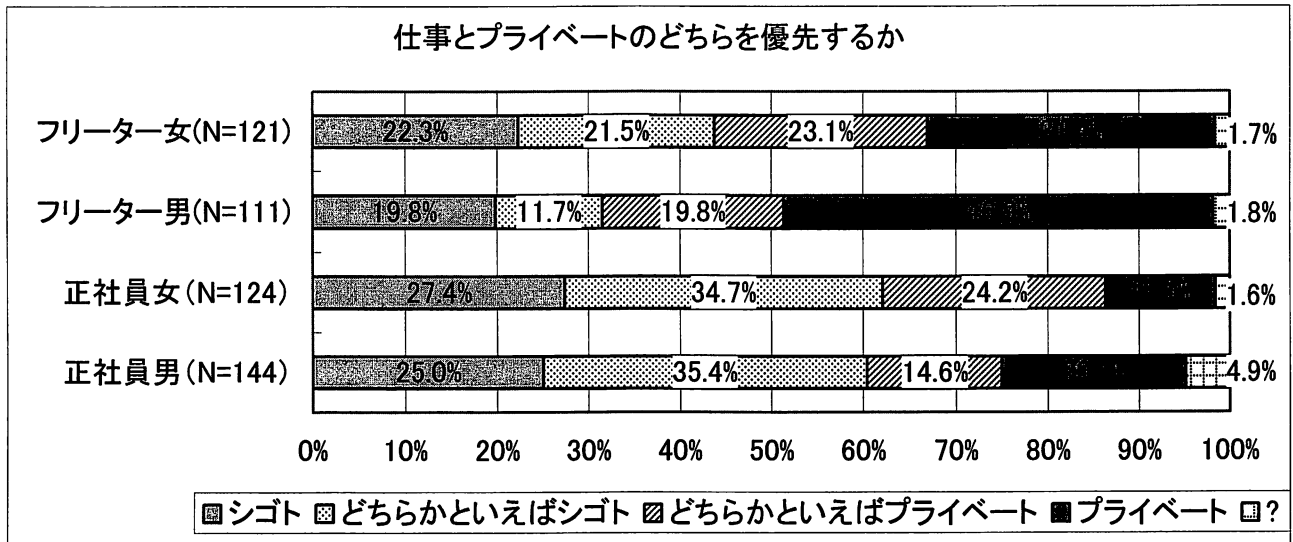
④【仕事とプライベートの優先順位】

問8の項目においては、仕事とプライベートの優先順位について選択式で質問した。また、回答者に対して、その理由について自由回答で答えてもらい、その答えを集計して類型化した。

問8. 自分の生活の中で、仕事とプライベートのどちらを優先的に考えていますか。また、その理由を教えてください

・プライベートより仕事を優先する      ・どちらかといえば、プライベートより仕事を優先する

・どちらかといえば、仕事よりプライベートを優先する      ・仕事よりプライベートを優先する

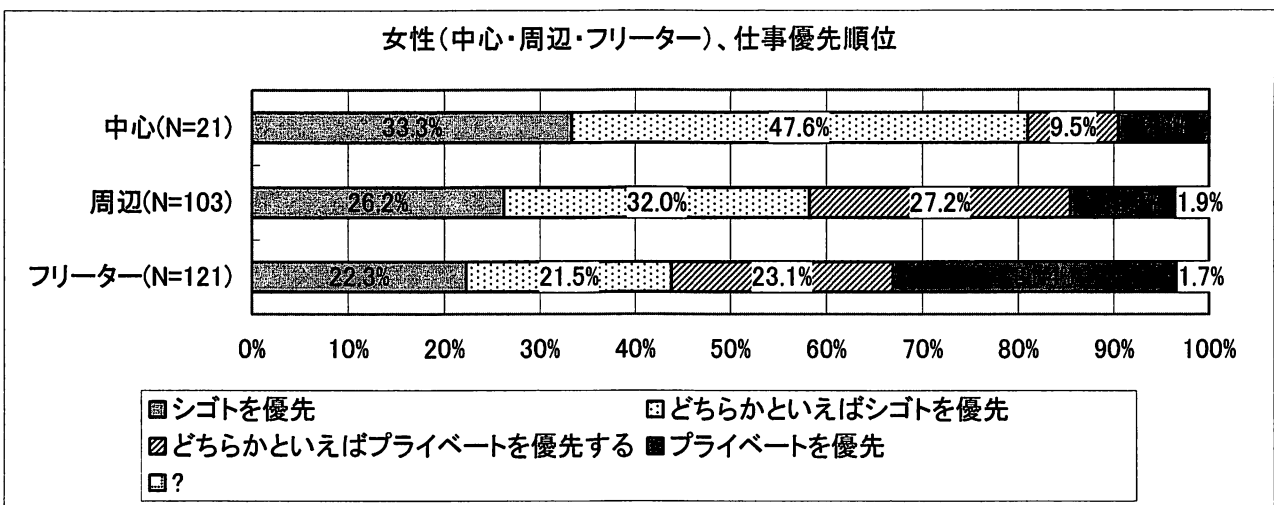
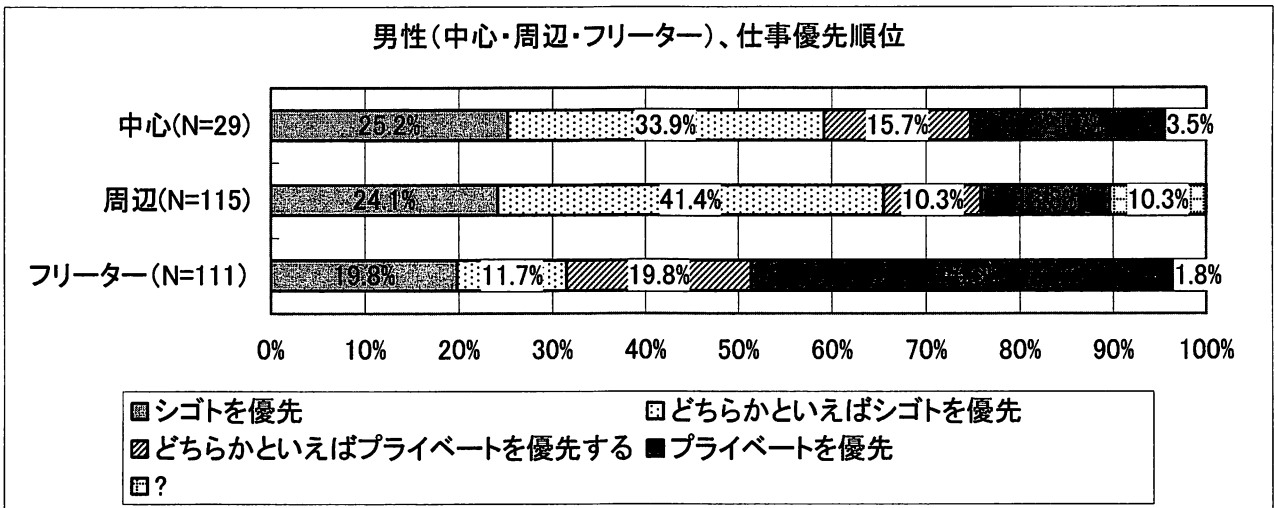


- ・ 特徴的なこととして、フリーターの場合は、「プライベートを優先する」と回答した人が、男性で5割弱、女性で3割強いるということである。それに対して、正社員の場合は、「プライベートを優先する」と回答した人は、男性で約2割、女性で約1割となっている。
- ・ 「仕事を優先する」と「どちらかといえば仕事を優先する」を併せて、相対的に「仕事を優先する」とした場合であれば、正社員は6割を超え、フリーターは男性で3割、女性で4割になる。反対に、「プライベートを優先する」と「どちらかといえばプライベートを優先する」を併せて、相対的に「プライベートを優先する」とした場合は、正社員は3割強であり、フリーターの場合は男性で6割強、女性で5割強いるということになる。
- ・ 結論として、フリーターは相対的にプライベートを優先している割合が高いのに対して、正社員は仕事を優先する割合が高いということがいえる。



【中心的正社員、周辺の正社員、フリーター別仕事優先順位分析】

正社員を中心と周辺にわけ、それにフリーターを加えた3類型で仕事の優先順位について調べてみた。結果としては、周辺の正社員の回答は、おおよそ意識の面でも正社員とフリーターの間を取ったような割合ということになったが、どちらかといえば中心的正社員寄りである。

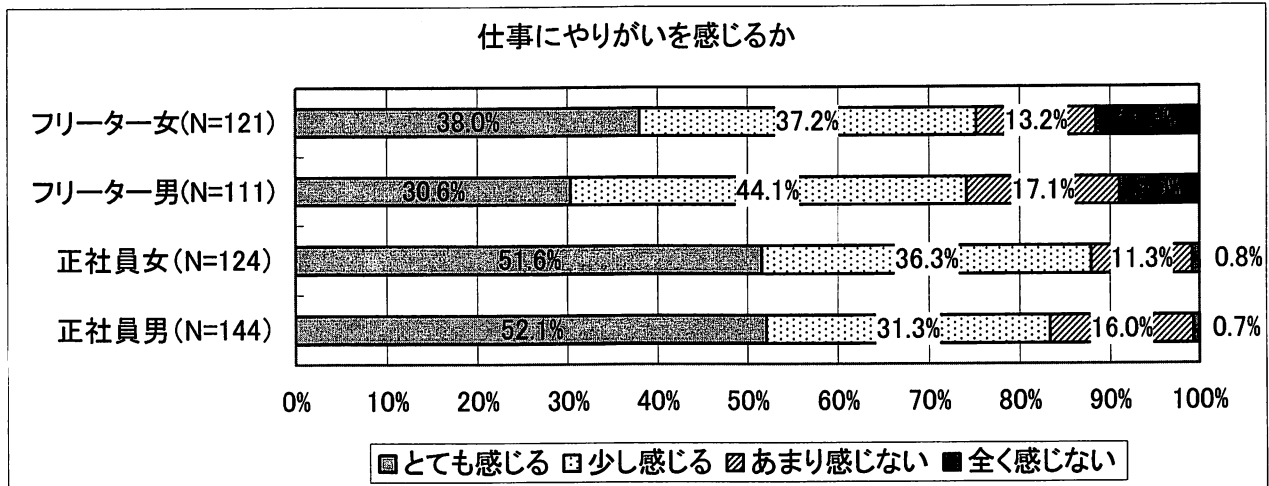


⑤-①【仕事にやりがいを感じるか】

問9の項目においては、仕事とプライベートの優先順位について選択式で質問した。また、回答者に対して、その理由について自由回答で答えてもらい、その答えを集計して類型化した。

問9. 仕事にやりがいを感じますか。また、その理由を教えてください

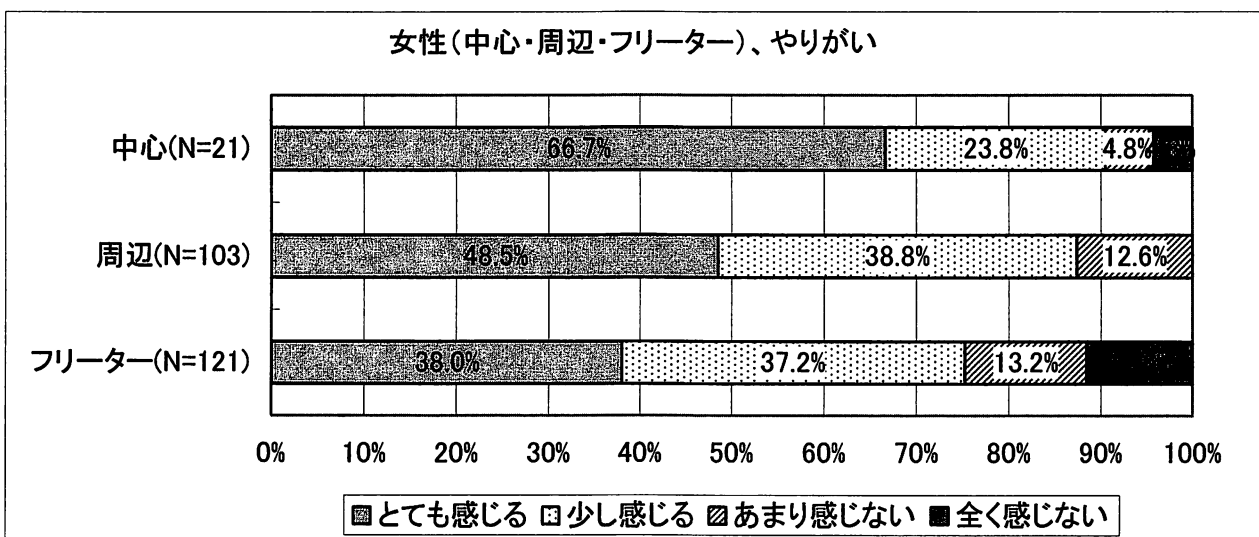
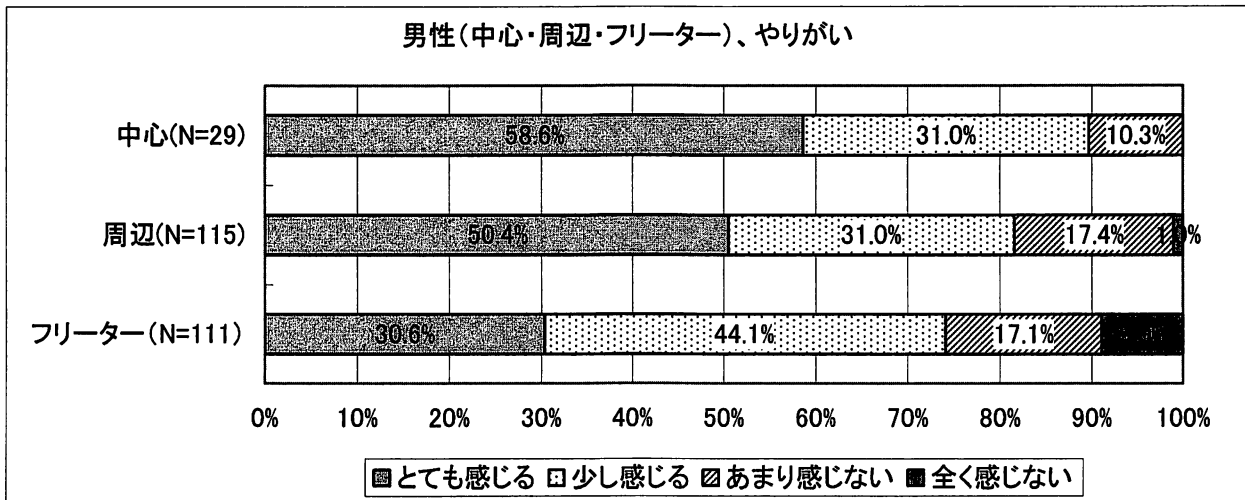
( とても感じる    少し感じる    あまり感じない    全く感じない )



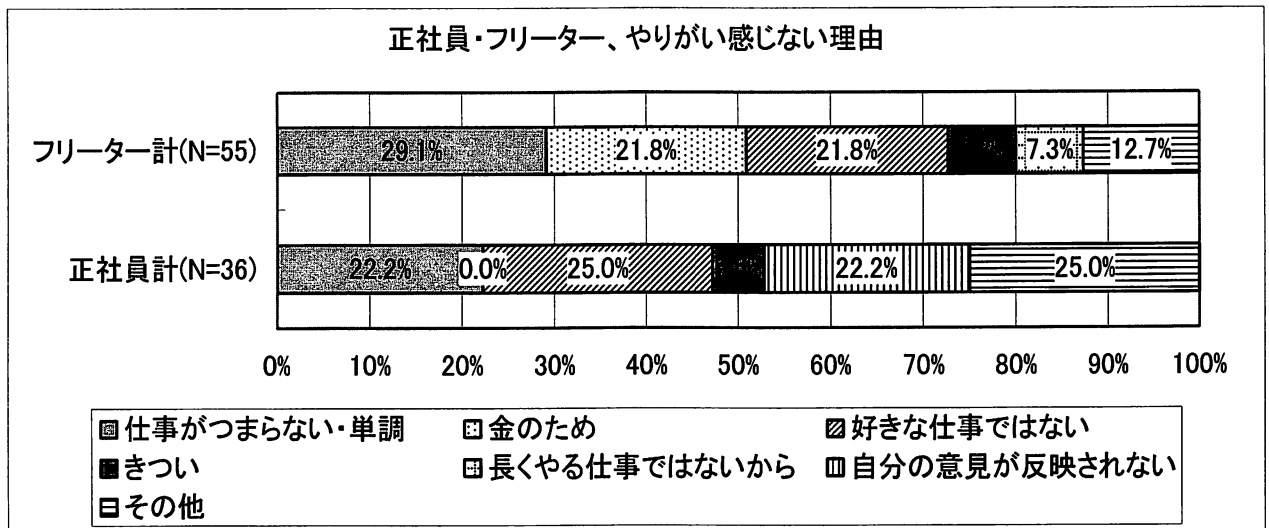
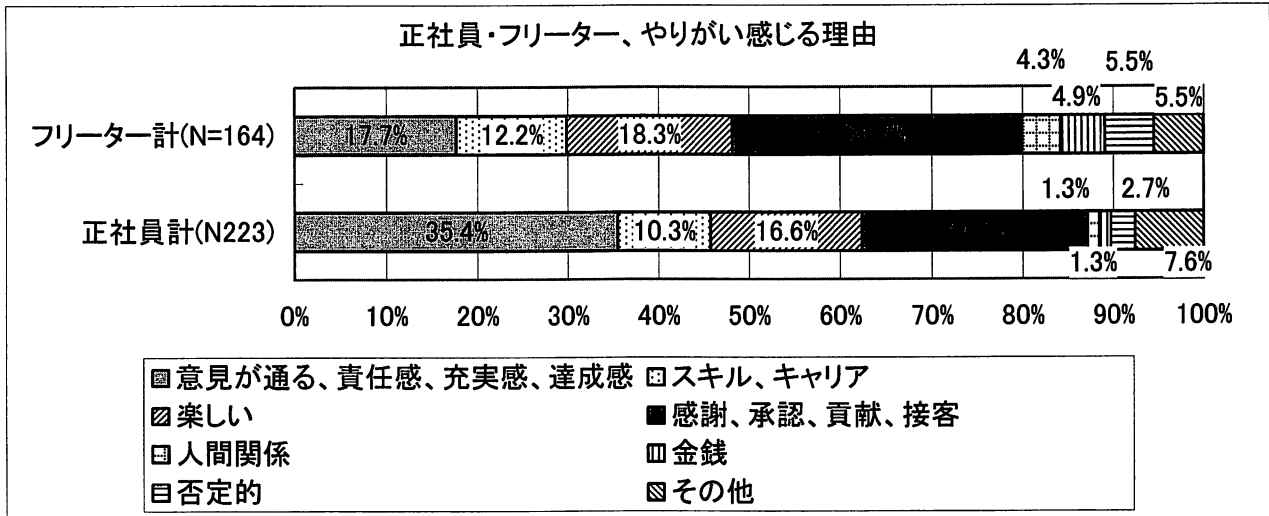
- ・ 特徴的なこととして、一目してわかるのは、男女ともに正社員の場合は、やりがいを「とても感じる」と回答した人が5割強いることであり、反対に、やりがいを「全く感じない」と回答した人は1%にもみたないということである。
- ・ 他に、特徴的なこととして、フリーターの場合は、やりがいを「全く感じない」と回答した人は約1割である。
- ・ やりがいを「とても感じる」と「少し感じる」を併せて、相対的に「やりがいを感じる」とした場合であれば、正社員は8割を超え、フリーターは7割を超えることになる。反対に、「あまり感じない」と「全く感じない」を併せて、相対的に「やりがいを感じない」とした場合は、正社員は2割弱、フリーターは3割弱いることになる。
- ・ 正社員・フリーターの違いにかかわらず、仕事に対してやりがいを感じている人は多くの割合で存在するのであるが、注目すべきはやりがいを感じるにしても、正社員とフリーターではその内容・理由が質的に異なることである。

【中心的正社員、周边的正社員、フリーター別やりがい分析】

正社員を中心と周辺にわけ、それにフリーターを加えた3類型でやりがいについて調べてみた。結果としては、周边的正社員の回答は、おおよそ意識の面でも正社員とフリーターの間を取ったような割合ということになったが、どちらかといえば中心的正社員寄りである。



⑤-②【やりがいを感じる、感じない理由】



- ・ 「やりがい」という言葉を出したときに、正社員の感じる「やりがい」と「フリーター」が感じる「やりがい」には、どうやら質的な違いがあることが判明した。
- ・ 正社員の場合は、「自分の意見が通る」、「達成感」、「責任感」が「やりがい」を感じる主な理由であるのに対し、フリーターの多くは、「感謝される」、「認められる」、「役に立つ」といったところに「やりがい」を見いだしている。それも「客から感謝された」というものであるなど、正社員に比べて、具体性に欠けるものであった。
- ・ 正社員の場合は、具体的に自らの仕事が形となって現れるという具体性がある。しかもこの場合の「やりがい」は、会社の役に立ったというような企業主義的なものではなく、自らが「仕事」をやり遂げたことからくる「やりがい」である。企業主義の統合から「仕事への統合」という変化をとってこのことを捉えたい。
- ・ フリーターの仕事は単調な作業であるため、実質的には「やりがい」を感じにくい状況に置かれているのだが、だからこそ、観念的な想定によって無理矢理「やりがい」を見いだしている感がある。つまり、労働による疎外、自らのアイデンティティの欠落を、細かなことや心情的な側面におけるアイデンティティの形成によって補っているのである。このことは、正社員の「仕事への統合」に対して、「『仕事への統合』以前の仕事への統合」として捉えたい。

⑥【結婚について】

問12の項目においては、結婚に関する質問を行った。また、「していない」と答えた回答者に対して、その理由について選択式で答えてもらった。

問13においては、問12で「していない」と答えた回答者に対して質問した。

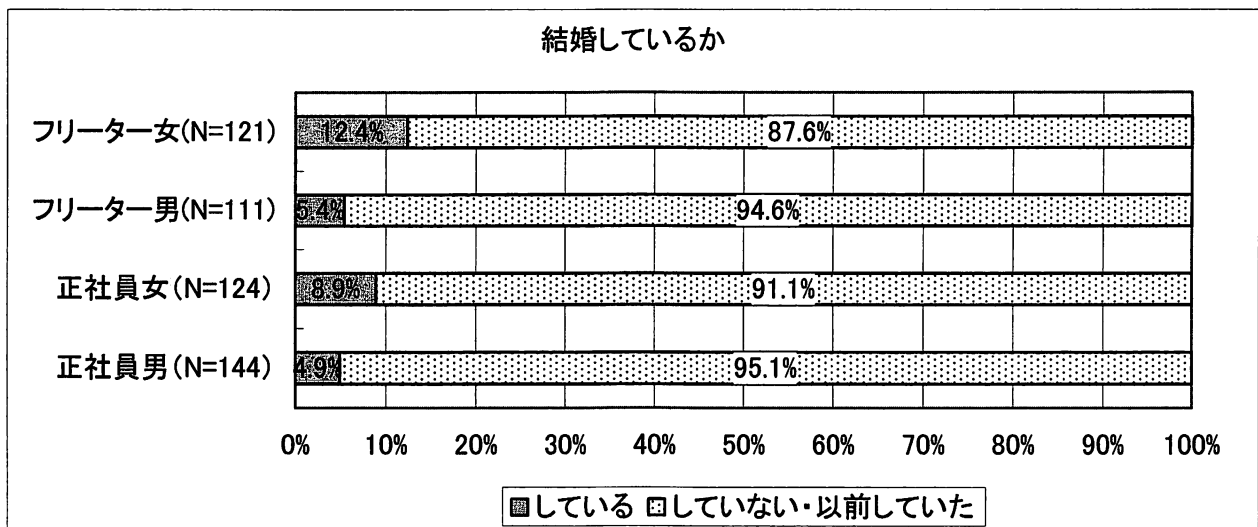
問12. あなたは現在結婚していますか

( している していない 以前していた )

→していないと答えた方、その理由を教えてください(複数回答可)

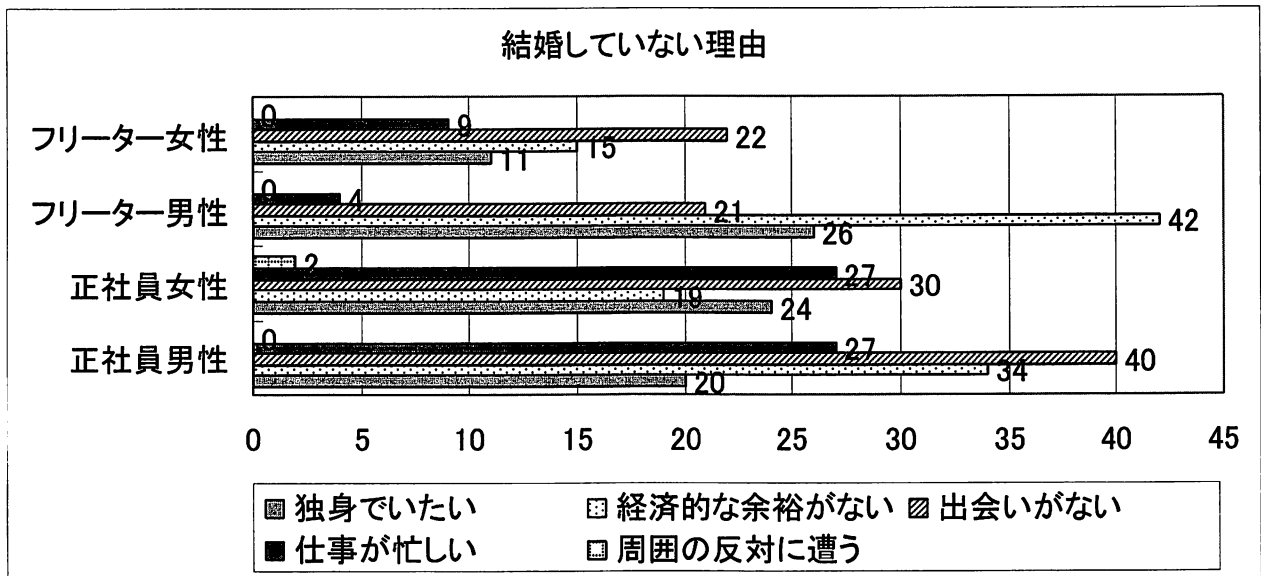
- ・独身でいたい
- ・経済的な余裕がない
- ・出会いがない
- ・仕事が忙しい
- ・周囲の反対に会う
- ・その他 ( )

問13. 結婚したいと思いますか ( はい いいえ )

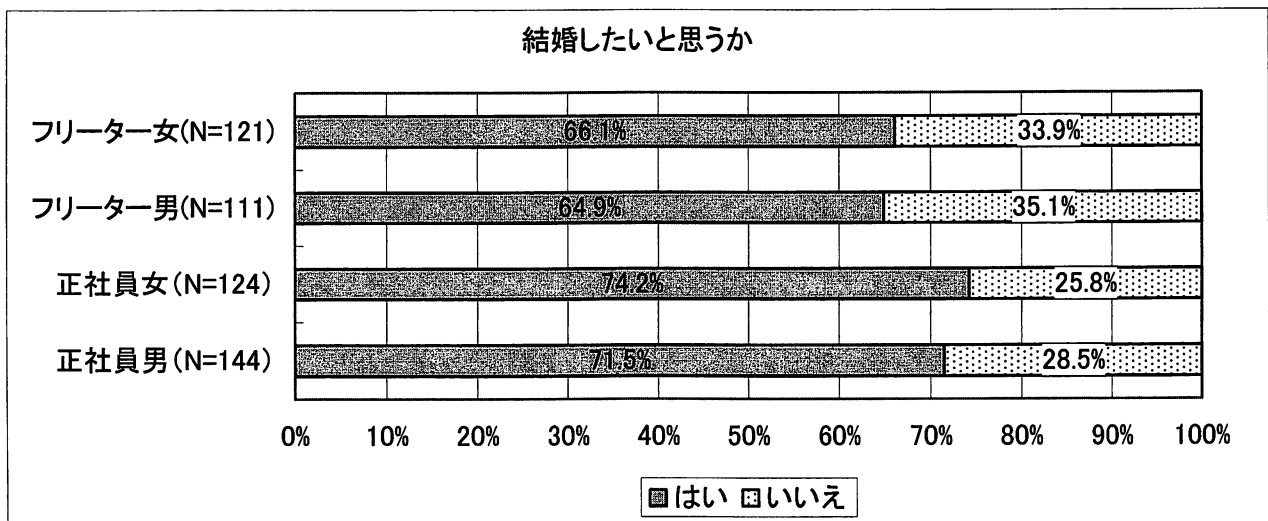


<結婚していない理由>

- ・ 全体的に「出会いがない」を挙げる人は多い。そこには人間関係が希薄である、結婚までにいたる相手がいないなど様々な背景があると推察されるが、このことは雇用形態・性別にかかわらず、働く若者の多くに共通している。
- ・ 正社員は男女ともに、「仕事が忙しい」を理由としてあげる人が多くいた。正社員の多くは、仕事に忙殺されるがために結婚できない状況に置かれているようだ。
- ・ 男性は女性に比べ、「経済的な余裕がない」をあげる人が多い。ここには男性は結婚するからには家族を養っていくだけの経済的余裕がなければならないという社会通念が影響しているように推測される。
- ・ 「周囲の反対にあう」はほぼ皆無であった。



問 13 結婚したいと思いますか



- 結論として、多くの若者が結婚したいのにできていない状況があり、その理由として、正社員・フリーターの違いにかかわらず「出会いがない」というものが大きな割合を占めている。個別のグループでは、正社員の場合は「仕事が忙しいこと」、男性の場合は「経済的な余裕がない」ことが大きな理由としてある。

## 2007年 若者の雇用状況調査

実施団体 NPO法人 POSSE

私たちPOSSEは、若者の「働くこと」の問題について取り組むNPOです。現在、若者の労働・生活状況および、それに関する意識調査を行っています。どうかご協力ください。

問1. あなたの現在の働き方は、次のどれにあたりますか

・正社員 ・契約社員 ・派遣/請負 ・パート/アルバイト その他( )

問2. あなたは普段、どのような仕事をしていますか (例: 工場で、車の部品を、作っている)

問3. 最後に学校を出てから、何年目ですか ( 年目)

問4. その間の転職経験を教えてください ( 回)

問5. 「3年で辞める若者」が話題になっていますが、3年で辞めることについてどう思いますか。また、その理由を教えてください(複数回答可)

・良いと思う 理由 ・仕事と会社は関係ないから ・お金のため  
・スキルアップが大事 ・会社に縛られたくないから  
・その他( )

・悪いと思う 理由 ・一つの会社で働き続けるべき ・仲間に迷惑をかけてはならない  
・スキルが身につかない ・会社に生きがいを見出せるから  
・その他( )

問6. 労働時間は固定ですか、シフトですか ( 固定 シフト )

→労働している時間帯(シフトの場合は先週一週間)( )

→週当たりの労働日は何日ですか( 日)

問7. 職場でどのような悩みがあるか教えてください(複数回答可)

・労働条件 ・職場内での人間関係 ・顧客、取引先との人間関係 ・セクハラ、パワハラ  
・メンタル面 ・その他( ) ・なし

→差し障りなければ、詳しく教えてください

問 8. 自分の生活の中で、仕事とプライベートのどちらを優先的に考えていますか。また、その理由を教えてください

- ・プライベートより仕事を優先する
- ・どちらかといえば、プライベートより仕事を優先する
- ・どちらかといえば、仕事よりプライベートを優先する
- ・仕事よりプライベートを優先する

(理由)

問 9. 仕事にやりがいを感じますか。また、その理由を教えてください

( とても感じる    少し感じる    あまり感じない    全く感じない )

(理由)

問 10. 職場以外で誰とよく話しますか (複数回答可)

- ・誰とも話さない
- ・地元 (小・中学校など) の友人
- ・学生時代 (高校・大学など) の友人
- ・職場の同僚
- ・家族
- ・恋人
- ・その他 ( )

問 11. 生活に困ったとき、助けてくれる人はいますか (複数回答可)

- ・誰もいない
- ・地元 (小・中学校など) の友人
- ・学生時代 (高校・大学など) の友人
- ・職場の同僚
- ・家族
- ・恋人
- ・その他 ( )

問 12. あなたは現在結婚していますか

( している    していない    以前していた )

→していないと答えた方、その理由を教えてください (複数回答可)

- ・独身でいたい
- ・経済的な余裕がない
- ・出会いがない
- ・仕事が忙しい
- ・周囲の反対に会う
- ・その他 ( )

問 13. 結婚したいと思えますか ( はい    いいえ )

---

性別 ( 男性    女性 )    年齢 (        歳 )    親と同居している ( はい    いいえ )  
学歴 ( 中卒    高卒    専門卒    高専卒    短大卒    大卒    大学院卒 )  
時給 (        円 )    月収 (        円 )    ボーナス ( ある    ない )

---

質問事項は以上です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

調査日 (        )    調査場所 (        )    調査者 (        )



## 資料 付属統計表

## 男性中心の正社員

年齢	学歴	月収(万)	シゴトの内容	職種	理由
32	大学院卒	35	新聞記者	専門・技術的職業	
28	大卒	40	税理士	専門・技術的職業	
28	大卒	55.5	ディレクター。テレビ番組制作	専門・技術的職業	給料から判断
28	大卒	32	航空エンジン設計。パソコン。コンピュータグラフィック	専門・技術的職業	
24	大卒	35	システムエンジニア システム開発	専門・技術的職業	
30	大卒	31	留学生のカウンセラー	専門・技術的職業	
27	大卒	50	映像、舞台、役者	専門・技術的職業	
26	大卒	45	IT コンサルタント	専門・技術的職業	
25	大卒	30	自動車の輸出業務、事業投資先管理業務	事務的職業	
30	高専卒	90	会社役員(イベント企画)	管理的職業	
30	大卒	35	営業企画	管理的職業	
25	高卒	33	商社。	?	
30	大卒	37	金融、営業	?	
28	大卒	40	公務員(消防)	保安的職業	職種・月収から
25	大卒	30	PR活動、広告づくり、外回り	販売的職業	月収から
27	大卒	40	不動産の営業(契約を取る)	販売的職業	月収から
26	大学院卒	34	携帯の開発	専門・技術的職業	月収から
24	大学院卒	27	オフィスでシステムプログラムの開発	専門・技術的職業	
28	大学院卒	20	設計・開発・ハードウェア	専門・技術的職業	給料が低いので
28	大学院卒	25	コンピュータのシミュレーション	専門・技術的職業	月収から
26	大卒	27.5	ブローカーで保険コンサルタント、企画	専門・技術的職業	月収から
34	大卒	25	コンピュータシステム開発	専門・技術的職業	職種・月収から
25	大卒	25	半導体の設計	専門・技術的職業	職種・月収から
27	大卒		映画館の管理・運営	管理的職業	管理・運営とほとんどをになっているから
30	大卒	24	派遣会社。管理・営業	管理的職業	管理もしているから
22	大卒	24	電通で人事	管理的職業	
28	大卒	28	事務所でデザインをしている	専門・技術的職業	
32	専門卒	35	食品関係。営業。他社に提案・プレゼン。	販売的職業	月収から
22	専門卒	30	芸能プロダクションで営業	販売的職業	月収から

## 女性中心の正社員

年齢	学歴	月収(単位:万円)	シゴトの内容	職種	理由
32	大学院卒	40	計測会社でプログラミング	専門的・技術的職業	
31	大卒	31	半導体の設計	専門的・技術的職業	
25	大卒	23	IT会社でプログラミング	専門的・技術的職業	
33	大卒	35	広告代理店でデザインをしている	専門的・技術的職業	
24	大卒	38	IT系のシステムコンサルタント(外資系)	専門的・技術的職業	
26	大卒	32.5	会社で、映像の編集をしている	専門的・技術的職業	
25	大卒	25	小学校教師	専門的・技術的職業	
24	大卒	25.5	ホットペッパーの製作、営業	専門的・技術的職業	
28	大卒	24	薬剤師。薬局で調剤	専門的・技術的職業	
23	大卒	30	不動産関係(企画)	専門的・技術的職業	
23	大卒	25	病院の薬剤師	専門的・技術的職業	
25	大卒	21	教師	専門的・技術的職業	
24	大卒	20	公務員。教員	専門的・技術的職業	
23	大卒	30	助産師	専門的・技術的職業	
22	大卒	22	中学校で理科を教えている	専門的・技術的職業	
34	高卒	40	店舗開発(マネジメント)	管理的職業	
29	大学院卒	30	建築の現場監督	管理的職業	
28	大卒	200	レコード会社の経営	管理的職業	
22	大卒	19	IT企業で運営管理	管理的職業	
23	大卒	30	不動産の営業	販売的職業	月収から
31	短大卒	30	営業	販売的職業	月収から